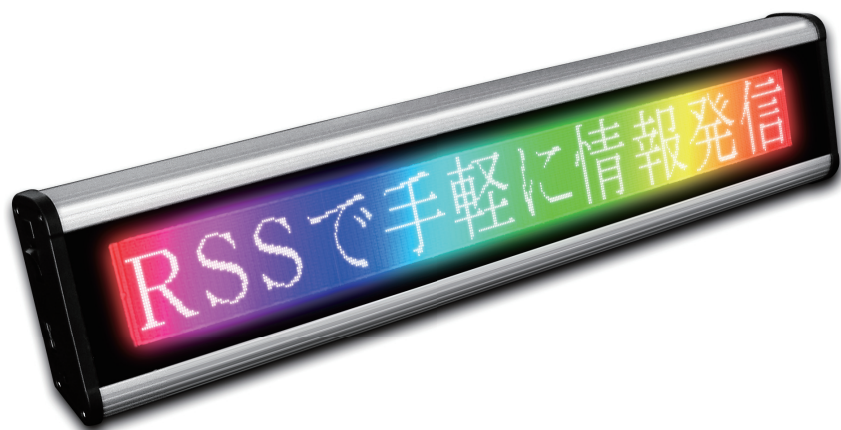
i-Catch Roll DS

アイ・キャッチロールディーエス

型名：　IPD-011-ULBS

取扱説明書

本製品の使い方全般を説明しています。

保証書付き

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用の前に「安全にお使いいただくために」（4ページ）を必ずお読みください。

● この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保管してください。

もくじ

保証・免責事項

●保証事項
本書に付属されている保証書が、ノリタケ伊勢電子株式会社の唯一の保証となります。

●免責事項
・本書に記載された指示事項を守らなかったり、設定やお手入れにおいて、注意または配慮をしないで生じた損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・本製品の乱用、誤使用、用途の誤りなどが原因の直接および間接損害、またはその他の損害について、弊社は一切の責任を負いません。
・本製品の改造が原因の損害または傷害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・付属品、消耗品の使用により生じた本製品の故障や間接損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客さまの損害について責任を負いません。

重要なお知らせ

●本製品の意図した用途
本製品は、専用のアプリケーションソフトで作成したメッセージを表示するための装置です。
本製品の仕様は、23 ページの「主な仕様」を参照ください。
意図された目的以外で本製品を使用したり、安全指示および事故防止事項にしたがわないと、以下の危険を生じることがあります。
・あなたの健康への危険
・本製品の破損

●本製品を安全に使用していただくための事項
・本製品を使用する前に、本書に記述されている内容を十分にご理解ください。
・本製品の設置・操作・設定・お手入れ作業は、本製品の基本的な知識を習得した人が行ってください。
・関連する国および行政機関の法令や規則を守ってください。
・事故を防止するため、本来の意図された目的以外の使用や、本書に記載している以外の操作、お手入れの作業はしないでください。
・本製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万が一、故障または不具合があったり、本製品内部の点検・修理を行う際は、お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。（23 ページの「お問い合わせ先」参照）

●取扱説明書に関する事項
・本書は、i-Catch Roll DS の取扱説明書です。
・本書は弊社が版権を有しています。本書を含む図面および技術文書のいかなる箇所も弊社の事前の同意書なしに、複写、電子媒体など、どのような方式であっても複写することはできません。
・本書に記載されている写真や図は、実際の機械とは異なる場合があります。
・本書に記載されている数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なる場合があります。
・本書を紛失、または損傷した場合、再発行はできませんので、大切に保管してください。本書がない状態での本製品の使用は、事故発生の原因になります。
・本書、本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
・本製品を譲渡される場合は、次の所有者に本書を必ず渡してください。
・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・XPort、DeviceInstaller は Lantronix 社の米国およびその他の国における登録商標です。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、本書では「⚠警告」「⚠注意」「注意」の 3 種類で危険度のレベルを区分けし、以下のシンボルマークを用いて安全上の注意事項を記載しています。

シンボルマークの意味 （図記号の一例です。）

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

警告

「⚠警告」は、回避しないと、死亡または重症を招く可能性がある潜在的な危険状態を示します。

■電源について

電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本製品や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて電源を切る。火災や感電の原因となります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き電源を切る。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグをコンセントから抜き電源を切る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

■水ぬれについて

内部に水や異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて電源を切る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。

本製品に水がかかったときは、電源プラグをコンセントから抜いて電源を切る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

■異物混入、分解、改造について

クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。

本製品を分解、改造しない。内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

■設置について

航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への使用はできません。

ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。

本製品に水がかかるような場所に設置しない。ぬらしたりしない。火災や感電の原因となります。本製品の近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等、水を排出する機器にも注意してください。

屋外では使用しない。やむを得ず屋外で使用する場合は、風雨の影響を受けない場所に置く。発熱、発火、感電の原因となります。

⚠注意

「⚠注意」は、回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある潜在的な危険状態を示します。

■電源について

電源コードは、必ず付属のものを使用する。
付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用する。

電源プラグは、コンセントに直接差し込む。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

火災や感電を防ぐために、次のことを守る。

・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
・電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。
コードが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

■設置について

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

うつ伏せ、あお向け、逆さまにして使用しない。
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。

風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。

■使用上の注意について

上にものを置いたり、上に乗ったりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

ものを引っ掛けたりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

表示ユニットを強く押したり、衝撃を与えたりしない。
表示ユニットに力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。

■お手入れについて

付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。
ほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために

注意

「注意」は、回避しないと、物的損害を引き起こす可能性がある潜在的な危険状態を示します。

■電源について

電源コードの抜き差し（切 / 入）は必ず 5 秒以上の間隔をあける。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

■使用上の注意について

同じ画像は表示させない。焼き付け現象が起こる場合があります。定期的に表示内容を変えてください。

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

本書に従って正しい取り扱いをしてください。
※ 本製品をラジオ、テレビジョン受信機などから十分に離してください。
※ 本製品とラジオ、テレビジョン受信機などを別のコンセントに接続してください。

設置環境

●電磁波妨害に注意してください
・本製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、表示が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

●周囲温度は 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください
低温になる部屋（場所）でご使用の場合
・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

●屋外では使用しないでください
・やむを得ず屋外で使用する場合は、風雨の影響を受けない場所に置いてください。

●直射日光・熱気は避けてください
・異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
・キャビネットや部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

・急激な温度差がある部屋（場所）では使用しないでください。
・急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、表示品位が低下することがあります。

●結露（つゆつき）について
・本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本製品の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

●使用が制限されている場所
・航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

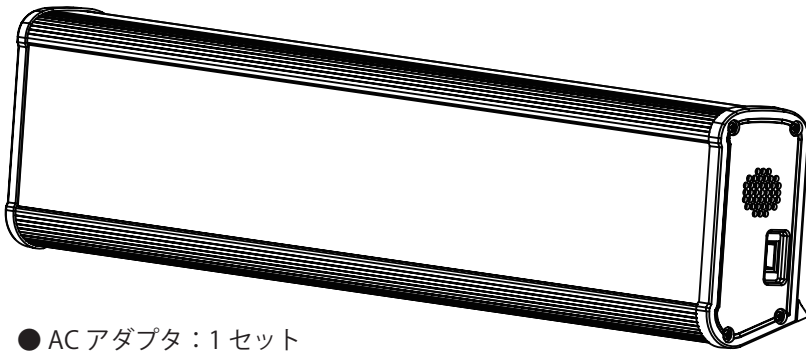
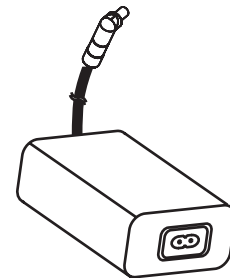
廃棄について

本製品を廃棄する際は、国の定めた廃棄ルールに従って廃棄してください。

付属品の確認、各部の名称

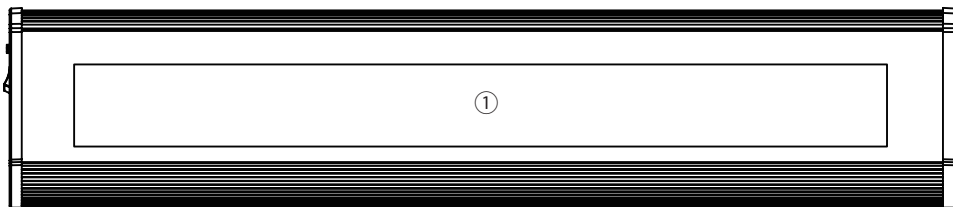
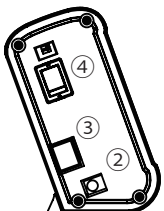
付属品

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

●表示ユニット

● AC アダプタ：1 セット
●取扱説明書（本書）：1 部
● CD-ROM：1 枚
　　iCR Editor：アプリケーションソフト

AC アダプタ（付属）

電源コード（付属）

ご注意 お買い上げいただいた製品の箱と緩衝材は保管していただくことを推奨いたします。

各部の名称

①表示部
②電源接続端子
③ LAN 入力端子
④電源スイッチ
⑤ USB 端子
⑥スピーカー

製品概要

●「i-Catch Roll DS」本製品　製品概要

・LED バックライト搭載の蛍光表示機を使用した、メッセージイルミネーション電光表示機です。
・電源は AC100V 入力の電源アダプタを使用します。本製品自体は DC24V 駆動です。
・表示内容は専用アプリにて編集後 USB メモリまたは LAN 経由で登録を行います。
・表示ユニットデータ登録時にチャイム音で着信をお知らせすることが出来ます。（シングル、マルチ通信モード時に有効）

基本操作の流れ

表示ユニットを設置

表示ユニットの設置、電源、LAN ケーブルの接続を行います。
表示ユニット設置については、9 ページの「表示ユニットの設置、動作の確認」を参照ください。

アプリケーションソフト「iCR Editor」にて表示ユニットデータの編集

付属の専用アプリケーションソフトにて表示ユニットデータの作成、編集を行います。
表示ユニットデータの作成、編集については、11 ページの「表示ユニットデータの作成、編集」を参照ください。

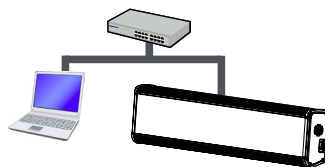
表示ユニットへの表示ユニットデータの書出し（登録）

USB メモリーモード

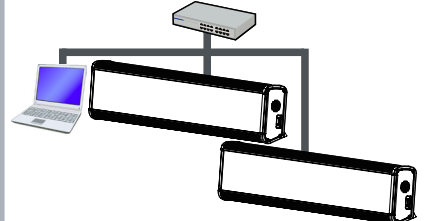
USB メモリーに表示ユニットデータを書出します。
書出した後の USB メモリーにて表示ユニットデータの書き換えを行います。

15 ページの「USB メモリーモードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照ください。

シングル通信モード

作成した表示ユニットデータを専用データに変換し、LAN に接続された**単一**の表示ユニットに LAN 経由で登録を行います。

16 ページの「シングル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照ください。
LAN 設定については 18 ページの「LAN の設定」を参照ください。

マルチ通信モード

作成した表示ユニットデータを専用データに変換し、LAN に接続された**複数**の表示ユニットに LAN 経由で登録を行います。

17 ページの「マルチ通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照ください。
LAN 設定については 18 ページの「LAN の設定」を参照ください。

表示ユニット　表示ユニットデータの更新

表示ユニットの設置、動作の確認

警告

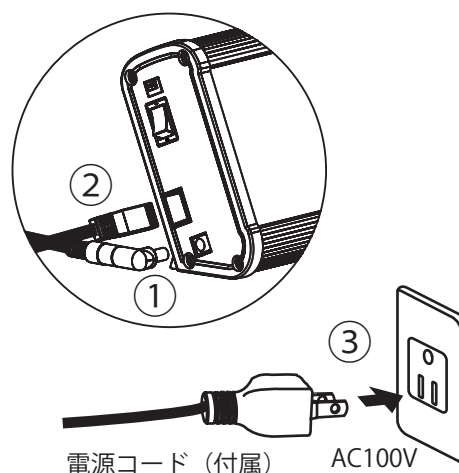
・電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因となる場合があります。

⚠ 注意

・電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。
・電源コードの抜き差し（切 / 入）は必ず 5 秒以上の間隔をあけてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。
・設置、移動の際は、本体底面部を持ってください。落下したりしてけがの原因となることがあります。
・表示部を強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。表示部に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。

電源・LAN 接続を行います。

① AC アダプタ（付属）の電源コードを電源接続端子に差し込みます。
②ネットワークに接続された LAN ケーブルを LAN 入力端子に接続します。（USB メモリーでの登録の場合は不要です。）

③電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れます。電源が入ると、出荷時登録画面が表示されます。

ご注意
・本製品は水平面に対し垂直に設置してください。
・本製品は周囲温度 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください。
・熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保してください。
・発熱する機器の上に本製品を置かないでください。

LAN 接続について

・LAN 接続の場合、固定 IP アドレスの設定が必要です。
・LAN ケーブルはパソコンと直接接続する場合はクロスケーブル、HUB 等と接続する場合はストレートケーブルを使用してください。またカテゴリー 5 以上のケーブルを使用してください。
・社内 LAN に接続する際は、必ずネットワーク管理者に確認ください。

iCR Editor のインストール

●アプリケーションソフト「iCR Editor」動作条件

OS	CPU	主記憶メモリ	ハードディスク空き容量	インターフェース	ディスプレイ
Windows 7 日本語版	OS のシステム条件に準じる。		100MB 以上	USB	1024x768 以上
Windows Vista 日本語版	OS のシステム条件に準じる。				

ご注意

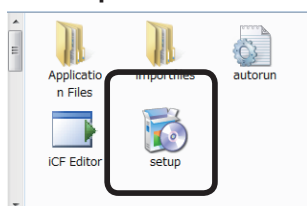
・**本アプリケーションソフトのインストールにはインターネットに接続されている必要があります。**また Microsoft® の **.NET Framwork 3.5 SP1** が必要です。

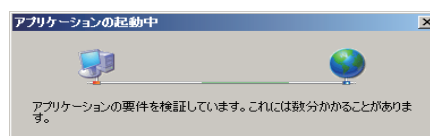
・インストール後の動作には **Internet Explorer 7** 以上がインストールされている必要があります。

●アプリケーションソフト「iCR Editor」のインストール

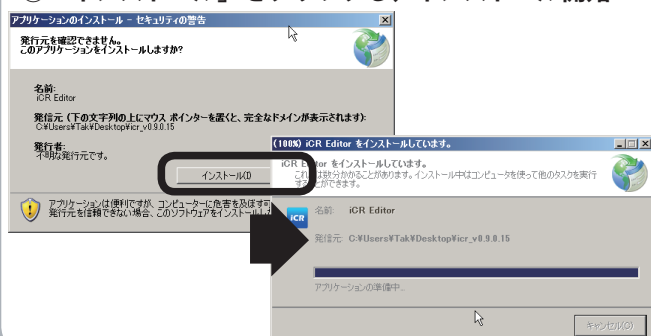
ご使用のパソコンの使用環境などにより、説明内容、画面と実際の内容、画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。

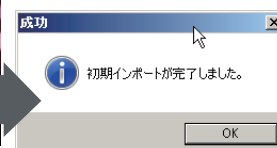
① setup.exe をダブルクリックする。

ご注意

.NET Framwork 3.5 SP1 がインストールされていない場合、**.NET Framwork 3.5 SP1** のインストール画面が表示されますので、指示に従いインストールを進めてください。

②アプリケーションの起動

ご注意

新しいバージョンの iCR Editor が使用可能な場合、自動的にアップデートを促す画面が表示されます。その場合は指示に従いアップデートしてください。

③「インストール」をクリックし、インストール開始

④初期インポート開始、完了

編集に必要な各種データがインポートされます。

インストール完了ですので、「OK」をクリックして終了ください。

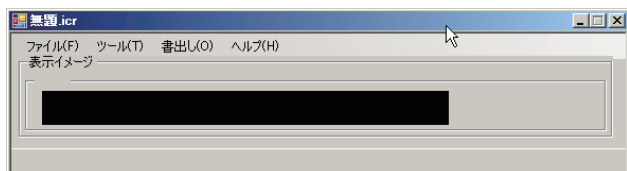
⑤ iCR Editor が自動起動します。

インストールが完了しますと、自動的に iCR Editor が起動します。

ご注意

Internet Explorer 7 以上がインストールされていないとその後の動作が不安定になります。

本アプリケーションソフトは "ClickOnce" に対応しております。

インターネットに接続している環境であれば、オンラインアップデートが可能となります。

ご注意 iCR Editor を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集することは、著作権法上、個人的にその複製物や編集物を使用する場合に限られます。このような利用方法はお控えください。
また、iCR Editor において写真の画像データ、映像などを利用する場合は、上記著作権侵害となります。

表示ユニットデータの作成、編集

●アプリケーションソフト「iCR Editor」概要

本製品の表示に必要な、蛍光表示部の文字、ビットイメージ表示、およびアクション表示の作成、設定、編集を行います。
このアプリケーションソフトでは以下のことができます。

- 登録する表示ユニットデータの新規作成、編集、保存
- 新規アクションファイル、画像データのインポート
- 登録する表示ユニットデータの書き出し

アプリケーションソフト画面説明

スタートメニューより「iCR Editor」を起動してください。

1．ファイル
新規表示ユニットデータ作成および保存、データの編集時に使用します。

2．ツール
各種設定、各アクションファイルのインポートなどに使用します。

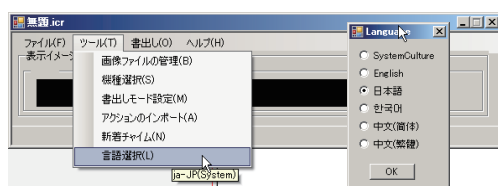
5．ライン編集
表示アクションの切り替え、ビットイメージの選択、フォントの切り替えを行います。

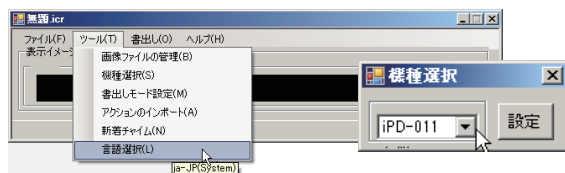
3．書き出し
表示ユニットデータ編集後、書出しを行います。

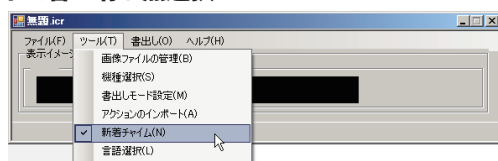
6．タイムライン
表示ユニットデータの追加、削除、および順番入れ替えを行います。

4．表示イメージ
表示ユニットの文字表示作成、編集、およびビットイメージの挿入を行います。

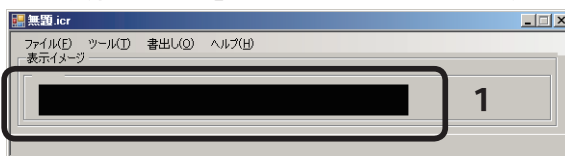
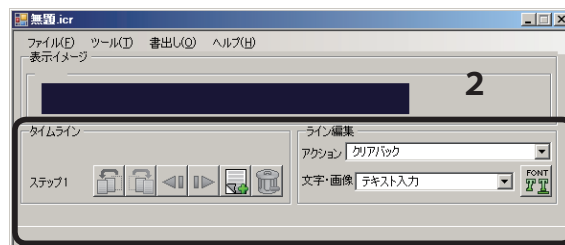
初期設定

言語設定

画面の表示言語の設定ができます。
（初期起動時は OS の基本システムフォントが指定されます。）

機種選択

機種の選択を行います。IPD-011 を選択します。

新着チャイム音の有 / 無選択

表示ユニットデータ登録時のチャイム音の有 / 無を選択します。（シングル、マルチ通信モード時に有効です。）

入力モードへの切り替え

1.「表示イメージ」エリアをクリックします。

2．右図のようにコントロール画面が表示され、入力モードになり、各種編集作業を行います。

表示ユニットデータの作成、編集

表示ユニットデータ作成、編集

表示ユニットデータの作成、編集を行います。

1．表示イメージ内をクリックし、文字入力をします。

2．「FONT」ボタンを押して、フォントを選択します。縦文字を表示させたい場合は "@" 付きのフォントを選択します。

ご注意 マルチ通信モード利用の場合は、別途縦、横表示の選択を行いますので、"@" 付きフォントは使用しません。

3．文字の代わりにビットイメージを表示させたい場合は、文字入力と同様に表示エリアを選択後、登録されたビットイメージデータを選択します。

ご注意 ビットイメージデータは、Windows の「ペイント」などの描画ソフトで作成し、登録しておく必要があります。13 ページの「各種ファイルの追加登録（インポート）」参照ください。

4．「アクション」でお好きなアクション表示を選択します。

5．必要に応じ、表示ユニットデータ「表示ステップ」の追加・入替・削除を行います。

①表示ステップの追加、削除ボタン　③表示ステップの入替ボタン
②表示ステップの移動ボタン　④表示ステップ番号

「表示ステップ」の追加

追加ボタンにて追加を行うとブランクの表示ユニットデータ編集画面が表示され、ステップ 1 と同様に編集を行います。「表示ステップ」が「ステップ 2」と表示されることを確認ください。

「表示ステップ」の移動、入替

再編集したい表示ステップへの移動及び、表示ステップの前後入替ができます。

表示はステップ 1 から順番に繰り返し表示されます。

表示ユニットデータの保存・再編集

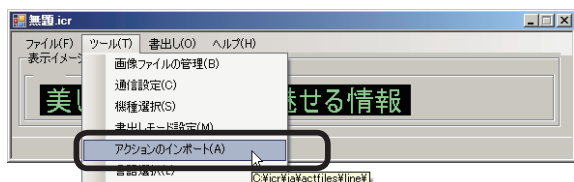
・作成・編集後は「ファイル」→「上書き保存」または「名前を付けて保存」にて任意の場所に保存します。

・保存したデータを再編集する際は、**かならず iCR Editor を起動後、「ファイル」→「開く」から任意のファイルを開いてください。** ファイルのダブルクリック操作では起動できません。

各種ファイルの追加登録（インポート）

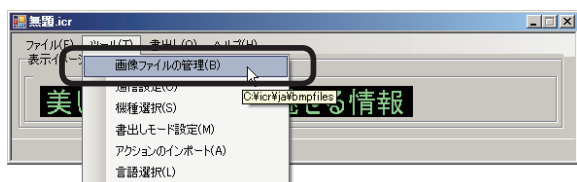
アクションファイルの追加登録を行います。また表示したい画像ファイルの登録を行います。

●アクションファイルのインポート

1.「ツール」の「アクションのインポート」を選択します。

2. 保存フォルダが自動的に開きます。登録したいアクションファイルの入ったフォルダをコピーしてください。

3. コピー終了後、フォルダを閉じ iCR Editor を再起動します。再起動後、新たに追加したアクションファイルが追加されていることをご確認ください。

●画像ファイルのインポート

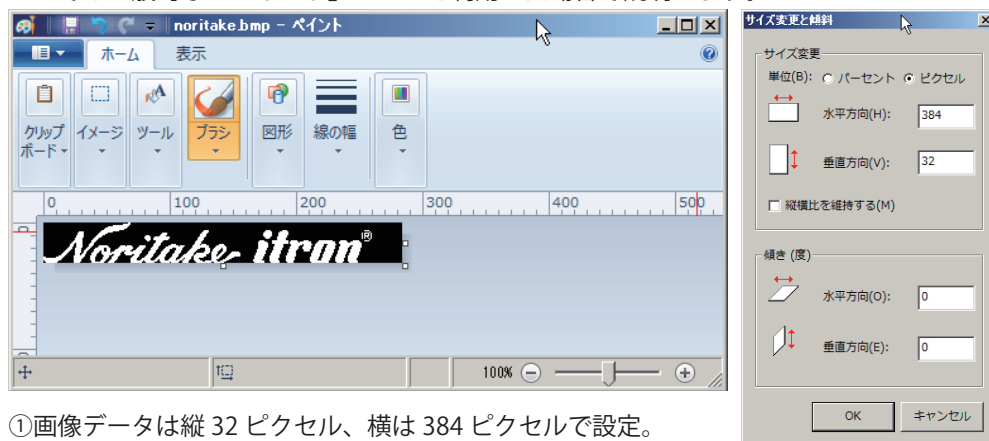
1.「ツール」の「画像ファイルの管理」を選択します。

2. 保存フォルダが自動的に開きます。登録したい画像データをコピーしてください。

3. コピー終了後、フォルダを閉じ iCR Editor を再起動します。再起動後、新たに追加した画像ファイルが追加されていることをご確認ください。

ご注意
ビットイメージデータは、Windows の「ペイント」などの描画ソフトで作成しておく必要があります。

画像データの作成方法例

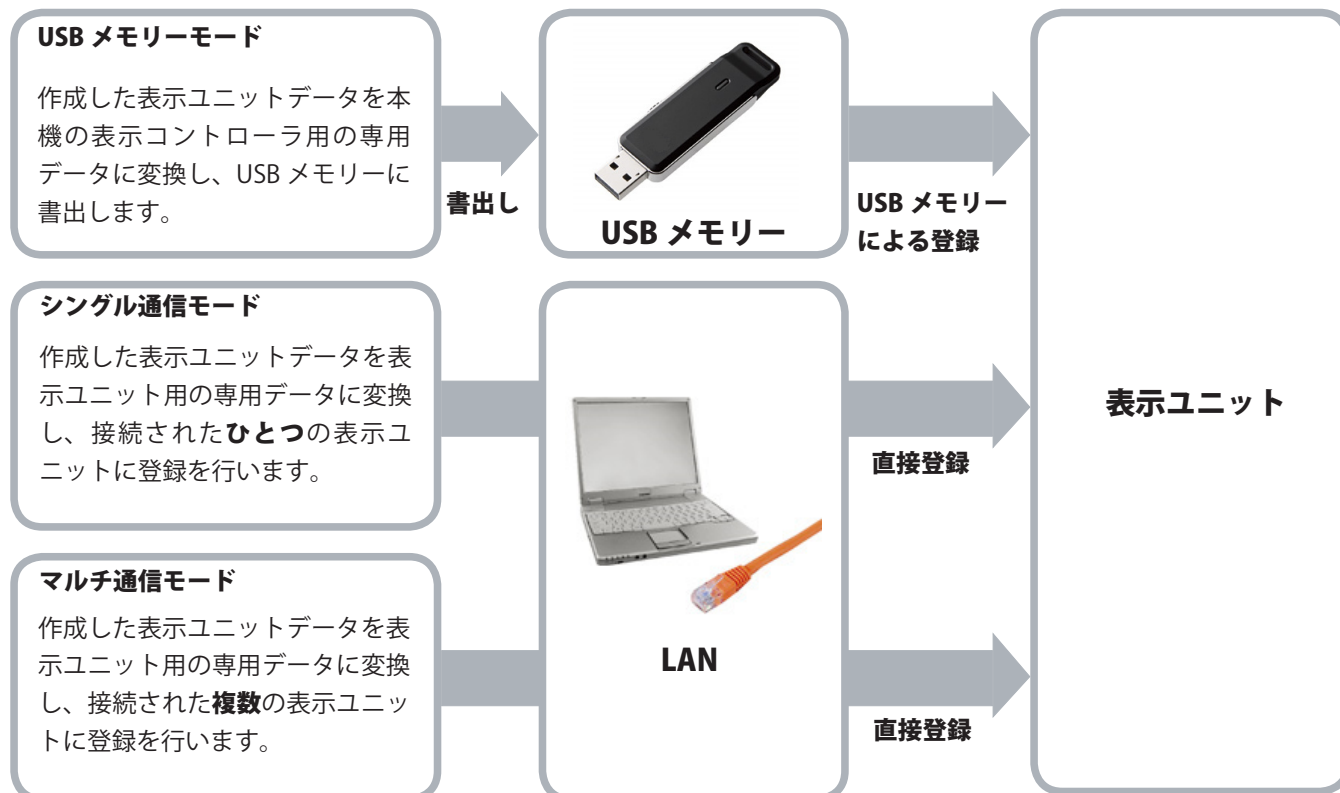
画像データ（BMP データ）の作成方法例

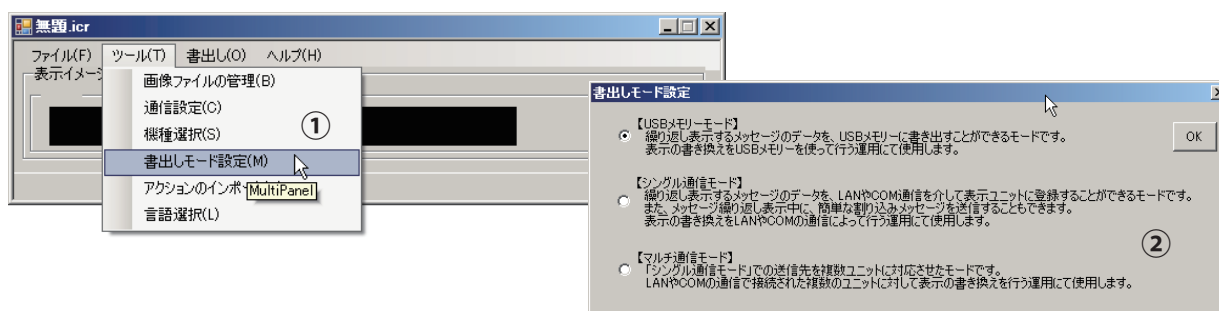
画像データの作成は描画ツールを利用して作成します。
ここでは一般的な「ペイント」ツールを利用した場合で説明します。

①画像データは縦 32 ピクセル、横は 384 ピクセルで設定。
②色は白黒
③単位はピクセル
④光る部分は白、光らない部分は黒で作成ください。（黒色で光る部分を作成し、最後に「色の反転」で反転）
⑤画像データ作成後、上記の通り、画像ファイルのインポートを行います。

ご注意 表示ユニットのピクセル形状の縦横比の違いにより、作成したイメージは縦長に表示されます。同等のイメージで表示したい場合は縦横比（約 1.3：1）で作成ください。

表示ユニットデータの書出し、本機への登録

表示ユニットデータの書出しモード選択

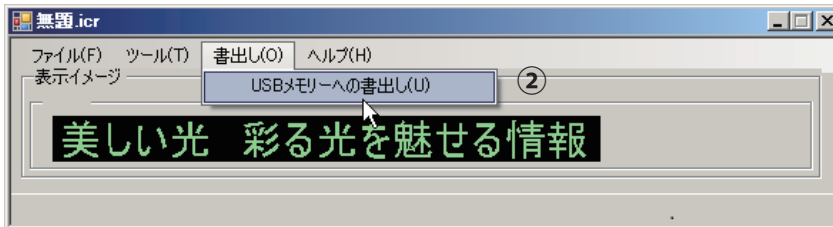
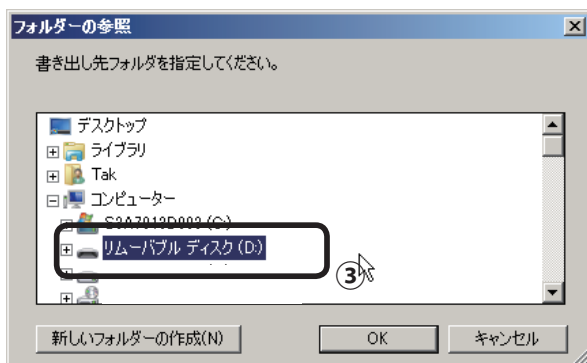
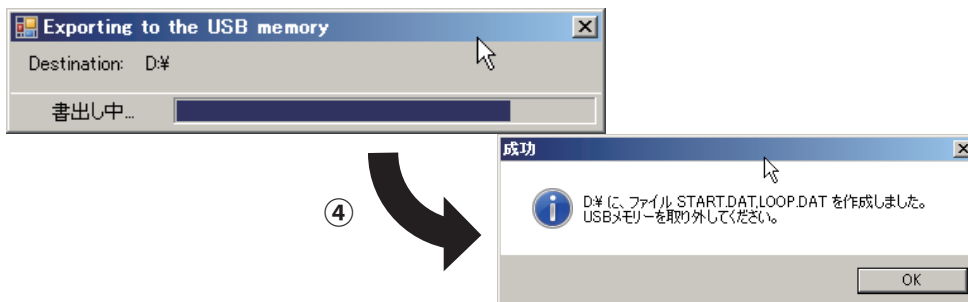
表示ユニットデータ作成後、本機へデータの登録「書出し」を行います。
表示ユニットデータの本機への書出しの方法として以下の方法があります。

ご注意 LAN 接続の場合、固定 IP アドレスの設定が必要です。LAN ケーブルはストレートケーブルが必要です。社内 LAN に接続する際は、必ずネットワーク管理者に確認ください。

書出しモード選択方法

①「ツール」→「書出しモード設定」
②書出し設定画面にて、「USB メモリーモード」、「シングル通信モード」または「マルチ通信モード」いずれかを選択してください。

USB メモリーモードによる表示ユニットデータの本機への登録

書出しモード設定で「USB メモリーモード」を選択後、登録までの手順を説明します。

① USB メモリーをパソコンの USB 端子へ挿入します。

②「書出し」→「USB メモリーへの書出し」を選択します。

③ USB メモリーが自動的に選択されますので、OK をクリックします。

④ USB メモリーへの書出しが開始されます。「成功」が表示されたら、OK をクリックし USB メモリーを取り外します。

⑤表示ユニット電源投入後、書出したデータの入った USB メモリーを本機 USB メモリー端子に挿入しますと、自動的に表示ユニットデータの登録が開始されます。

ご注意　本機へ登録中は絶対に USB メモリを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。

⑥登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。表示スタート後は USB メモリーを抜いてもかまいません。

表示ユニットデータの書出し、本機への登録

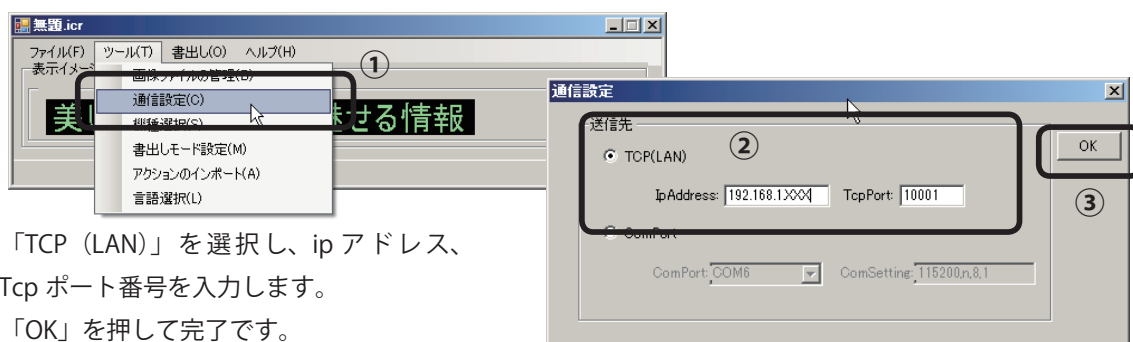
シングル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録

シングル通信モード、通信設定

書出しモード設定で「シングル通信モード」を選択後、登録までの手順を説明します。

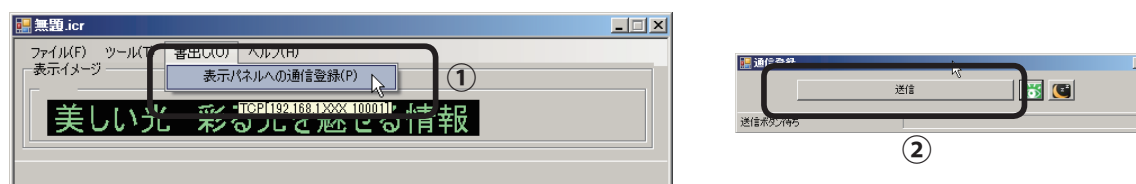
ご注意 事前に LAN の設定が必要です。18 ページの「LAN の設定」を参照ください。

・シングル通信モードは 1 台の表示ユニットに LAN 経由で登録したい場合に使用します。

①「ツール」→「通信設定」を選択しますと次のような画面が表示されます。

②「TCP（LAN)」を選択し、ip アドレス、Tcp ポート番号を入力します。

③「OK」を押して完了です。

ご注意 ComPort はこの製品では使用しませんので選択しないでください。

表示ユニットデータの登録

①「書出し」→「表示ユニットへの通信登録」を選択しますと右図のような画面が表示されます。

②「送信」をクリックしますと、表示ユニットへの登録が開始されます。

③登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。新着チャイム音有り設定の場合は、チャイム音が鳴ります。

ご注意 表示ユニットへ登録中は絶対に LAN ケーブルを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。

スリープ機能

  登録後の表示ユニットをスリープさせることが出来ます。スリープ中は表示が消え、低消費電力モードとしてお使いいただけます。

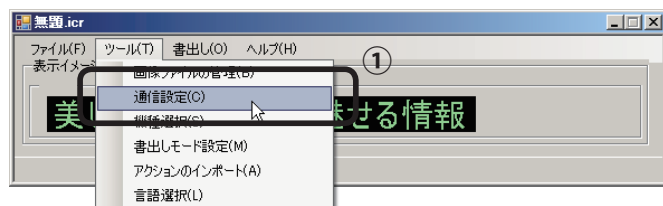
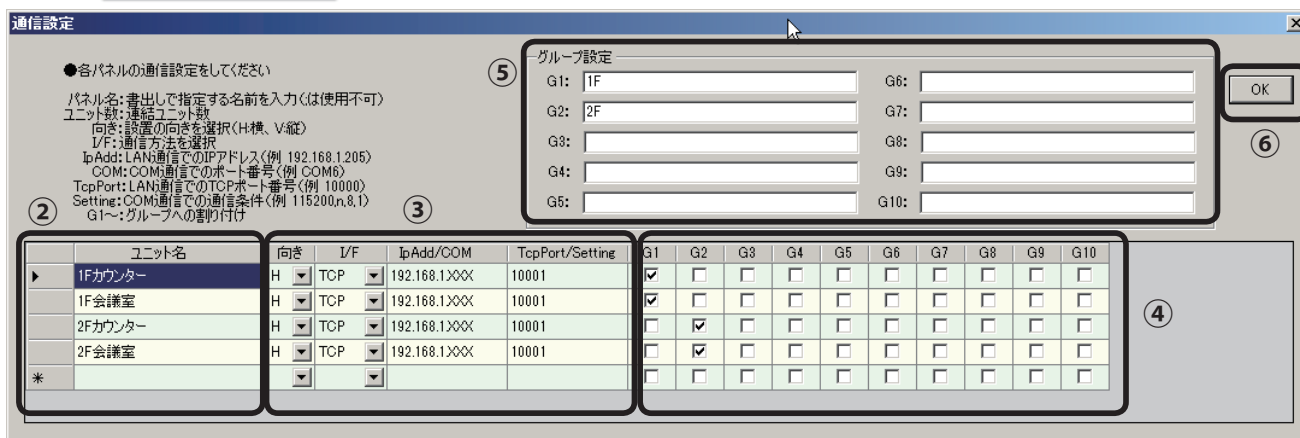
マルチ通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録

マルチ通信モード、通信設定

書出しモード設定で「マルチ通信モード」を選択後、登録までの手順を説明します。

ご注意 事前に LAN の設定が必要です。18 ページの「LAN の設定」を参照ください。

・マルチ通信モードは表示ユニットを複数台接続し、それぞれ個別に登録または複数の表示ユニットに同時に登録したい場合に使用します。接続された複数台の表示ユニットを個々に登録する機能**「個別送信」**及び、いくつかをグループ化して登録する機能**「グループ送信」**の 2 種類の登録方法があります。

・設定内容を認識し自動的に縦文字または、横文字表示します。

①「ツール」→「通信設定」を選択しますと次のような画面が表示されます。

②接続された表示ユニットに固有の名前を付加できます。個別送信時の送信先の名前として登録します。

③表示の向き、I/F、IP アドレス、Tcp ポートの設定を行います。

向き： 縦表示の場合は V、横表示の場合は H

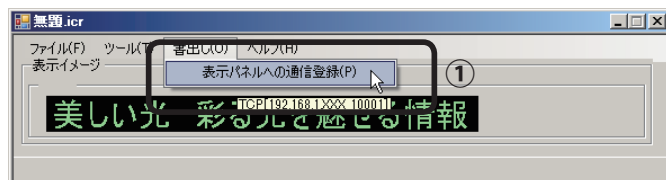
IpAdd/COM： IP アドレスの入力

TcpPort/Setting： Tcp ポートを入力

④グループ登録したい表示ユニットのグループ設定を行います。

⑤グループごとに固有の名前を付加できます。グループ送信時の送信先の名前として登録します。

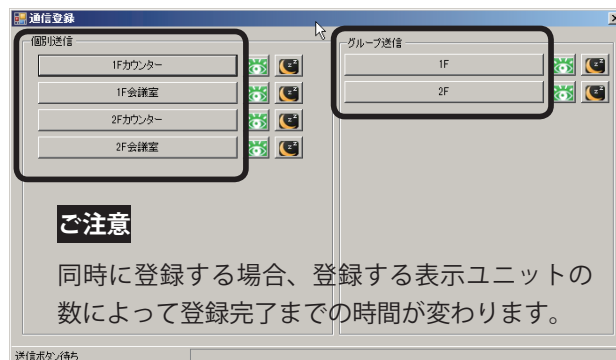
⑥「OK」をクリックして設定完了です。

表示ユニットデータの登録

①「書出し」→「表示ユニットへの通信登録」を選択します。

②登録したい表示ユニットのボタンをクリックすることにより、表示ユニットへの登録が開始されます。グループ送信の場合、順番に登録されます。

ご注意

同時に登録する場合、登録する表示ユニットの数によって登録完了までの時間が変わります。

③登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。新着チャイム音有り設定の場合は、チャイム音が鳴ります。

LAN の設定

LAN の設定　～固定 IP アドレス設定～

表示ユニットの LAN 設定

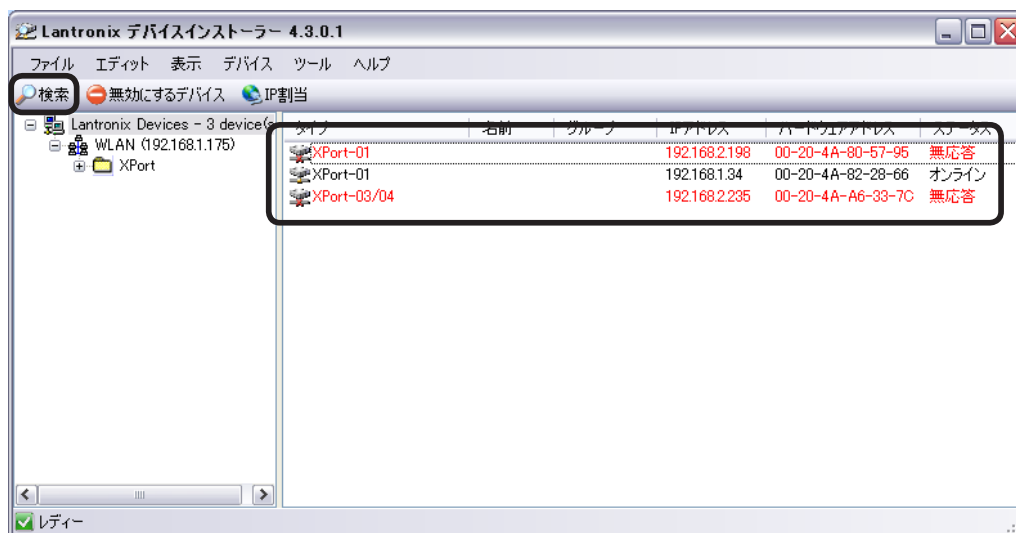
LAN による通信モードを使用して、表示ユニットデータの本機への登録を行う場合、本機の LAN 設定（固定 IP アドレス、RS-232 及び、TCP ポートの設定）が必要です。

本機の表示コントローラには LANTRONIX® 社製の XPort® が使用されております。LAN の設定には LANTRONIX® 社より配布されております、「DeviceInstaller™」を使って設定してください。

ご注意
・LAN ケーブルはパソコンと直接接続する場合はクロスケーブル、HUB 等と接続する場合はストレートケーブルを使用してください。またカテゴリー 5 以上のケーブルを使用してください。
・表示ユニットごとにパソコンと LAN で接続し、IP アドレス変更をした後に、ネットワーク上に接続してください。
・ネットワークに表示ユニットを接続後、同一ネットワーク上にあるパソコンから ping などの接続確認で表示ユニットの接続を確認したうえで、設置するようにしてください。
・表示ユニットの IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイの設定の際には、接続するネットワークの管理者と必ず相談のうえ、ネットワークにつながっているほかの機器の IP アドレスと同じにならないよう、的確な IP アドレスを設定するようにしてください。誤った内容を設定した際、表示器を認識できなかったり、接続したネットワークに障害をもたらす恐れがあります。
・ネットワーク障害などが起こった場合において、弊社では保証いたしません。お客様の責任においておこなうようにしてください。

「DeviceInstaller™」による設定方法　～固定 IP アドレスの設定～

①インストールした DeviceInstaller™ を起動

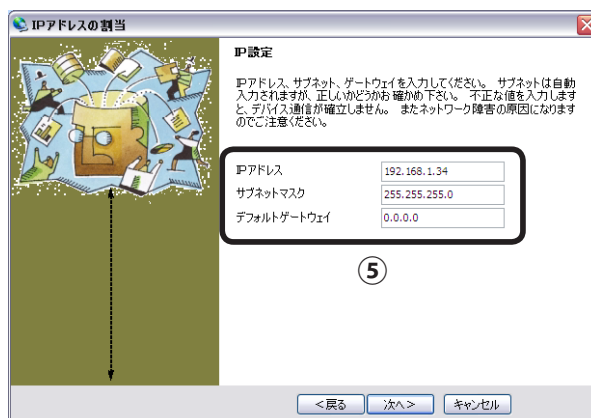
②「検索」ボタンをクリックすると、同じネットワーク上に接続されている XPort® が検出されます。

ご注意 出荷時設定は、DHCP サーバから IP アドレスやサブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイを自動取得するようになっています。

LAN の設定　～固定 IP アドレス設定　続き～

「DeviceInstaller™」による設定方法　～固定 IP アドレスの設定、続き～

③設定したい XPort® を選択し「IP 割当」ボタンをクリックしますと、「IP アドレスの割当」画面が表示されます。

④「特定 IP アドレス割当」にチェックを入れ、「次へ>」をクリックします。

⑤各項目を入力します。入力後「次へ>」をクリックします。

⑥問題なければ「割当」を押し設定します。

⑦「完了」を押して終了します。

ご注意

DHCP の無い環境でお使いの方は、「検索」ボタンで検索できません。XPort® の選択無しで「IP 割当」の画面から直接ハードウェアアドレス（MAC）と IP アドレスを入力することで設定できます。

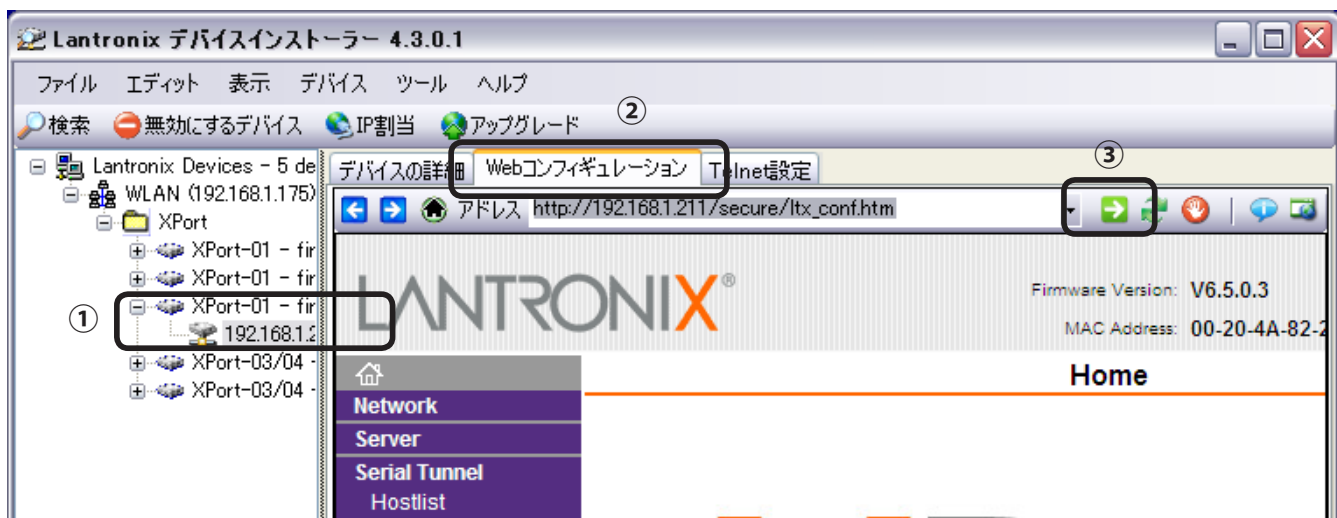
品名： i-Catch Roll DS
型番： IPD-011-ULBS
P/N： XXXXX
S/N： XXXXX
MAC： XXXXXXXXXXXX
定格電圧：24VDC
販売元：㈱ノリタケカンパニーリミテド
製造元：ノリタケ伊勢電子㈱

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

ハードウェアアドレスは本体上のラベルに記載されている 12 桁の英数字で構成されているアドレスです。

ハードウェアアドレスを入力して「次へ>」をクリックしますと IP アドレス等入力画面に移り、その後は同様の操作にて設定します。

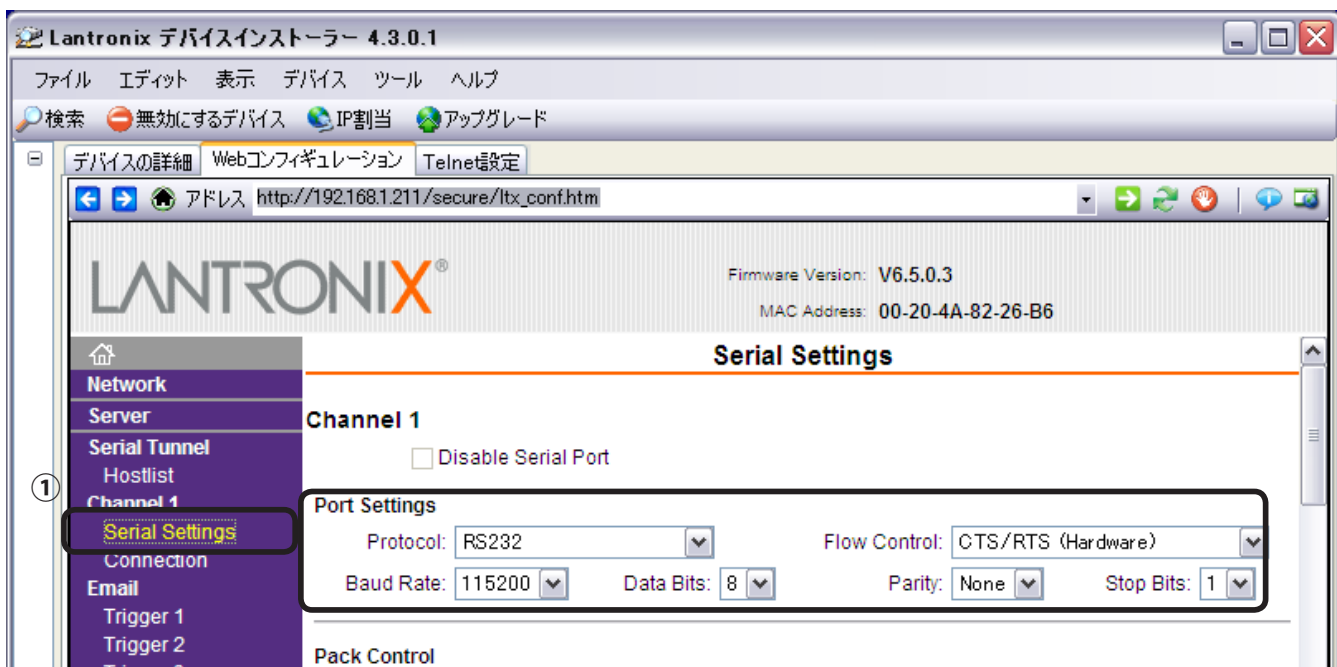
LAN の設定　～ RS-232 ポート設定～

「DeviceInstaller™」による設定方法　～ RS-232、TCP ポートの設定～

①「DeviceInstaller™」上の設定したい XPort® を選択します。

②「Web コンフィギュレーション」ボタンをクリックします。

③「ナビゲート」ボタンをクリックしますと、ユーザー、パスワード入力画面が表示されます。ブランクのまま「OK」をクリックしてください。（必要に応じて、ユーザー、パスワードは後ほど設定ください。）

④ Web コンフィギュレーション画面が表示されます。

RS-232 ポートの設定

①「Serial Setting」を選択

②「Port Setting」にて RS-232 設定を行います。下記の通り入力ください。

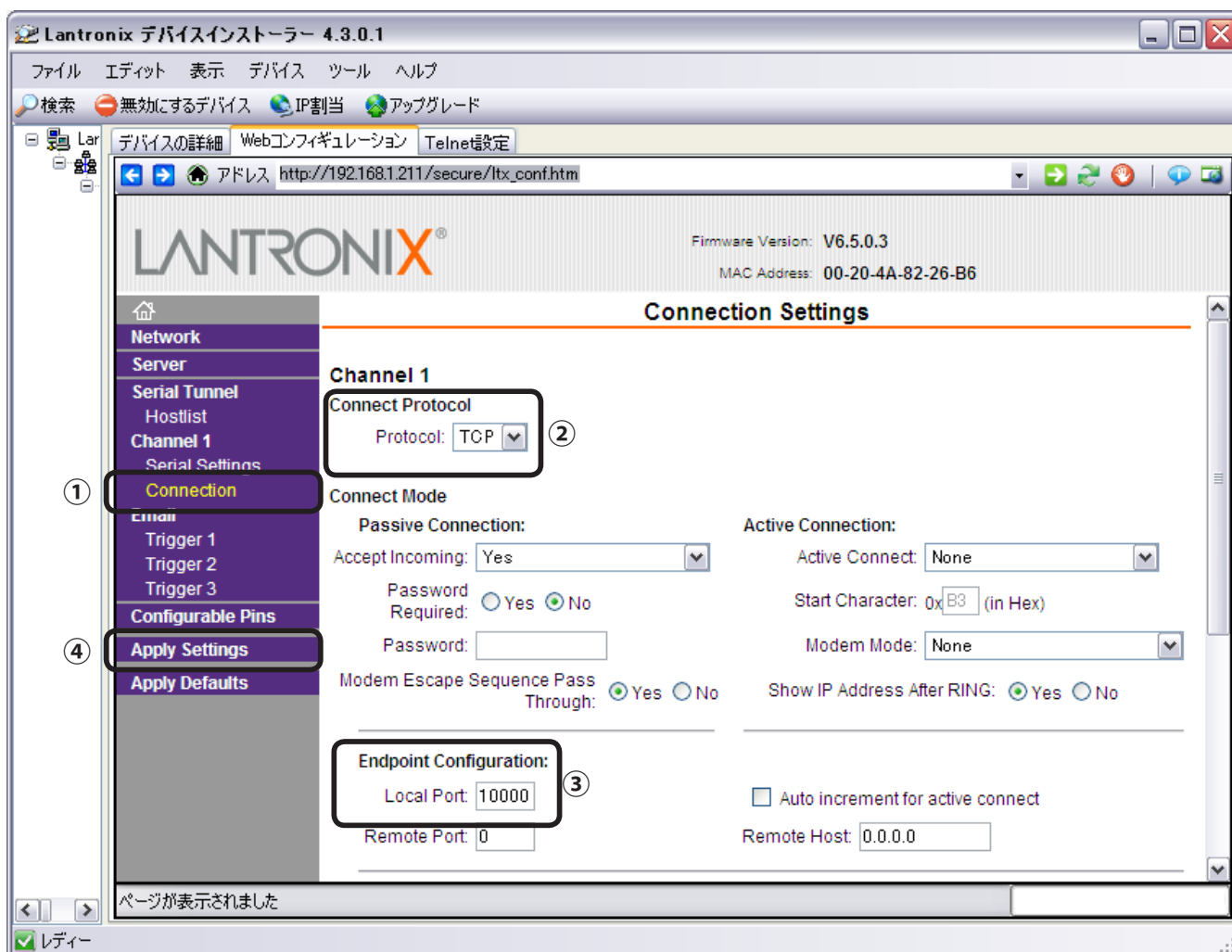
Protocol: **RS232**　　Flow Control : **CTS/RTS（Hardware）**

Baud Rate: **115200**　　Data Bits: **8**　　Parity: **None**　　Stop Bits: **1**

③入力後、最下部の**「OK」**を押した後、「Apply Setting」をクリックしますと、書換えが開始され、設定完了となります。次に TCP ポートの設定に移ります。

LAN の設定　～ TCP ポート設定～

「DeviceInstaller™」による設定方法　～ RS-232、TCP ポートの設定　続き～

TCP ポートの設定

①「Connection」を選択

②「Connect Protocol」で「TCP」を選択

③「Local Port」に任意のポート番号を入力

④入力後、最下部の**「OK」**を押した後､「Apply Setting」をクリックしますと､書換えが開始され､設定完了となります。

以上の設定により、LAN 設定は完了です。

お手入れのしかた

お手入れは、必ずコンセントから電源プラグを抜いて電源を切ってから行ってください。

表示ユニットは、見る角度によって色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本製品の動作に影響を与える故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●キャビネットの部分

・汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
　汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。

・以下の事項に注意してください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
　- ベンジン、シンナーなどは使用しない
　- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
　- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

●表示ユニットの部分

・表示ユニットの表面は、柔らかい布（レンズクリーナーやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつくなどの原因となります。

・表示ユニットにほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。

・表示ユニットの保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。

アイ・キャッチロール ディーエス

取扱説明書

●初版発行日：2014 年 2 月

●第二版発行日：2014 年 6 月

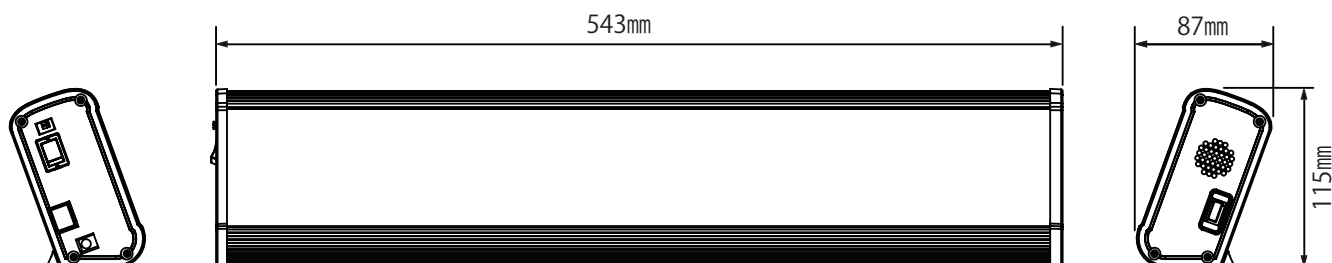
DS-1856-0804-01

主な仕様

● 製品仕様

項目	内容
型名	IPD-011ULBS
表示素子	LED バックライト搭載型、384x32 ドットグラフィック VFD
最大解像度（蛍光表示部）	384x32 ピクセル
表示文字数	12 文字 / ユニット
蛍光表示色	ブルーグリーン一色
画素ピッチ（蛍光表示部）	水平 1.2mm x 垂直 1.6mm
最大輝度（蛍光表示部）	700cd/㎡　*1
表示画面サイズ	468.2x50.3 mm
インターフェース	USB、LAN
電源入力	AC アダプタ　AC100V　50/60Hz　機器自体は DC24V 入力
使用温度条件	0 ～ 40℃
使用湿度条件	20 ～ 80%（結露なきこと）
消費電力	約 20W/ ユニット
外形寸法	寸法図参照
筐体材質	アルミ、ABS 樹脂
質量	約 2.3kg/ ユニット

*1：輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

●寸法図

単位：mm

お問い合わせ先

修理・使い方などのご相談・ご依頼、及び万が一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記までお問い合わせください。

●設定、取扱説明書に関するお問い合わせ先

☎0596-39-1119
（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
E メール：　ipd@noritake-itron.jp

ご連絡の前に、以下の内容をご用意ください。

・品名：i-Catch Roll DS
・形名：IPD-011ULBS
・シリアルナンバー
・お買いあげ日（年月日）
・故障の状況（できるだけ具体的に）
・ご住所
・お名前
・電話番号
・E メールアドレス

●故障、製品に関するお問い合わせ先

販売元：株式会社ノリタケカンパニーリミテド
製造元・営業代行：ノリタケ伊勢電子株式会社

●営業部　名古屋
〒 451-8501　名古屋市西区則武新町 3 丁目 1-36
TEL:052-561-9741　FAX:052-561-9780　（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
●営業部　東京
〒 105-8502　東京都港区虎ノ門一丁目 13 番 8 号
TEL:03-6205-4424　FAX:03-3501-7313　（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
● i-Products Gr.
〒 516-1192　三重県伊勢市上野町字和田 700
TEL:0596-39-1119　FAX:0596-39-1220　（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
●ホームページ：　http://www.i-products.jp/
● E メール：ipd@noritake-itron.jp
※ E メール、FAX は随時受け付けております。

保証書

商品名 型番 製造番号		
お客様	ふりがな お名前	お電話番号
取扱販売店		お買い上げ日
保証期間	**お買い上げ日から　1年間**	

●この保証書は、再発行致しておりません。大切に保管してください。
●この保証書は、本保証規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、本保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証規定

1. お客様の正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合､無償修理致します。その際､商品と本保証書をご持参､ご呈示の上､取扱販売店にご依頼下さい。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
   イ) 火災、異常電圧、定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震、雷、風水害、その他天災地変など、外部に原因がある故障、破損
   ロ) お客様による入手後の輸送、落下、その他の衝撃による故障
   ハ) お客様の故意若しくは過失、誤用、その他異常な条件下での使用において生じる故障
   ニ) 改造、不当な修理、その他の取り扱いが適切で無かったことによる故障
   ホ) 本書のご提示が無い場合
   へ) 本書に、工場出荷日、お客様様名、取扱販売店名の記入のない場合、あるいは、字句を書き換えられた場合
3. 保障期間内の当社瑕疵による故障であっても取り外し及び、再設置に係る費用については保証外となります。
4. 修理後の商品の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日または修理後９０日間の満了日のいずれか遅く到来する日までとします。
5. 保証期間満了後の故障につきましては、弊社判断により有償修理をさせて頂きます。
6. 法律上の請求の原因の種類を問わず、いかなる場合においても、弊社は、この商品の使用または使用不能から生じる本保証規定に規定されていない他のいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失または、その他の金額的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。いかなる場合においても、本保証規定に基づく弊社の責任は、本商品についてお客様が実際にお支払いになった金額を超えないものとします。